

# (減圧開頭は脳血管攣縮による遅発性脳梗塞を防ぐ効果があるか) に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: ( 2020 年 7 月 27 日 ) ~ 2021 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

シルビウス裂内血腫をもつくも膜下出血患者における、減圧開頭の遅発性脳虚血に対する予防効果について

## 〔研究目的〕

くも膜下出血患者では脳表に広がった血液が作用して発症数日後から動脈が攣縮(細くなる)を起こし、遅発性脳梗塞をおこすことが知られています。中大脳動脈の動脈瘤が破裂した患者さんではしばしばシルビウス裂に大きな血腫を作ります。その場合そこにある動脈に強い血管攣縮を引き起こし広範囲の遅発性脳梗塞が起きることが予想されますが、我々は、減圧開頭を施した患者においてそのような現象が起きず、良好な経過をとることも経験しています。本研究では同様な患者のデータを集め、減圧開頭の効果を検証します。

## 〔研究意義〕

減圧開頭は比較的簡単な手技であり、複雑な手術操作を行わずとも遅発性脳梗塞が防げれば、くも膜下出血の患者さんの予後の改善につながります

## 〔対象・研究方法〕

2009 年 4 月から 2020 年 5 月までの間に、帝京大学ちば総合医療センターに入院し、中大脳動脈分岐部動脈瘤破裂によっておきた、シルビウス裂内血腫を伴うくも膜下出血患者さんを対象とし、臨床記録・画像記録から遅発性脳梗塞が起きたかを調査します

## 〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定されない形で、データは集積・解析されます

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者： 保谷克巳

研究分担者： 保谷克巳

所属： 帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表) [内線 2621]